

44. 一般病棟の重症度、医療・看護必度

項目の解説

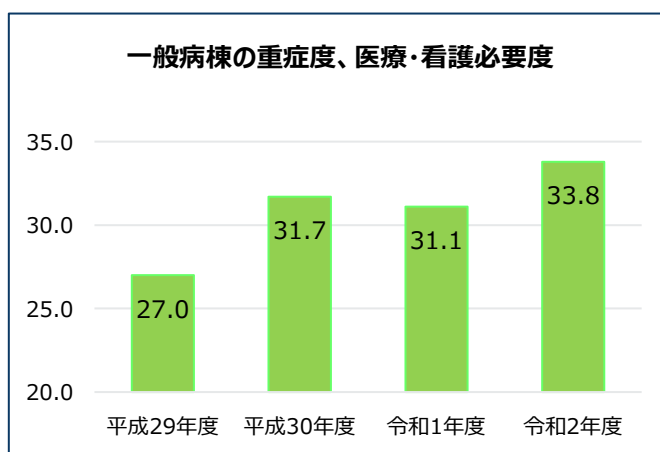
これは、一般病棟における重症度、医療・看護必要度に基づく、重症患者の基準を満たす割合を示す指標です。急性期の入院医療における患者の状態に応じた医療及び看護の提供量を反映する指標になります。重症度の割合が高いことは、急性期医療において、より医療のニーズ（手術・処置など）や手厚い看護（看護の提供量）の必要性が高い患者を多く受け入れていることを表します。つまり、この指標が高い医療機関は急性期医療に貢献していると考えられます。ただし、診療科の構成や ICU の病床数などにも影響を受けやすいため、目安の一つとして捕らえる必要があります。

算式

(A 項目 2 点以上かつ B 項目 3 点以上、A 項目 3 点以上または C 項目 1 点以上の該当患者延べ数) ÷ 一般病棟在院患者延べ数

当院の実績

令和 02 年度	33.8% (年間)
令和 01 年度	31.1% (年間)
平成 30 年度	31.7% (年間)
平成 29 年度	27.0% (年間)



定義

一般病棟の重症度、医療・看護必要度